

2025～26年度 RI第2650地区

創立 昭和36年6月28日

承認 昭和36年8月 3日

勝山ロータリークラブ週報

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地

TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL: <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama>

Email: katsuyamarc@gmail.com

■会長 滝川 博則 ■幹事 辻 利津子

編集発行・文責 公共イメージ委員会



会長メッセージ

～ 縁（えにし）を継なぐ ～

第3120回 例会 (4月14日)

●会長スピーチ

会長 滝川 博則



皆さま、こんにちは。

4月4日、5日と京都にて開催されました地区大会に参加してまいりました。

4日は会長・幹事・地区委員長会議、5日は地区大会本会議と懇親会が行われ、勝山からも5日には10名のご参加をいただきました。

また今回は、恒例となりつつある大野ロータリークラブとの合同バスでの移動となり、道中も含めて大変有意義な時間となりました。

開会前には京都市内の百屋にて昼食をいただき、京都らしい風情を感じるひとときでもありました。

さて、今回の地区大会の大きなテーマは「平和」であり、その中でも印象に残ったのが、ガバナーも交えたパネルディスカッションです。

特徴的だったのは、参加者からの様々な質問に対して、茶道裏千家大宗匠・千玄室先生の過去の講演の言葉をもとに答えていくという形式でした。

その中で、特に心に残ったお話があります。

「一杯のお茶」に込められた意味です。

お椀を地球に見立て、そこに注がれた緑のお茶は自然を表す。そして「お先にどうぞ」という相手の思いやる心が、平和へとつながっていく。

シンプルではありますが、今の時代だからこそ、リーダーに必要な考え方だと強く感じました。

4月は、各団体の総会なども多く、何かと慌ただしく動き出す時期でございます。

どうか皆さま、体調には十分ご留意いただきながら、日々をお過ごしください。

そして時には立ち止まり、「一杯のお茶」を味わうような心の余裕を持つことも、大切ではないかと思えます。

●出席報告

山内 智子

4月14日	欠席1名	95.24%
4月5日	欠席0名	100%

●ニコニコ報告

笠松 誠一

会員誕生	小林達治・織田昌弘・久保光子
結婚記念	斎藤清一郎・久保光子・梅田秀司
伴侶誕生	和田耕三・山内智子
所属消防団	はしりやんこ優勝 滝川博則

●幹事報告

幹事 辻 利津子

○地区大会 お礼状

小崎ガバナー

○令和7年青森県東方沖地震災害復興支援義捐金の受け入れについて

ガバナー事務所

○市民活動ネットワーク総会の案内

令和8年5月11日（月）午後7時 次年度理事になります

●到着物

○社協からこんにちは

勝山市社会福祉協議会

○創立100周年記念誌

京都ロータリークラブ

●委員会報告

●親睦ロータリー家族委員会

幅田 浩二

4月21日（火）ランチ例会 ごはん屋ごつつお
駐車場はJA会館もご利用になれます。

5月26日（火）新緑例会 ルポの森 19時より
18時に市役所よりバスがでます。平服で結構です。
出欠のお返事は本日中にお願いします。

●クラブラーニングファシリテーター 多田 慶一郎

炉辺会議について、5月15日までに開催してください。
参加者一人につきクラブより2000円の補助を出します。

●プログラム委員会

上山 弥一

4月28日の例会について

県立大学恐竜学部の学生をゲストにお呼びしています。
学生の都合上、例会時間を夜間に変更いたします。
19時開始となりますのでよろしくお願いします。

●会計

山内 政司

4期分の会費納入月となりますのでよろしくお願いします。



本日 プログラム	ランチ例会	4月28日 プログラム	ゲスト卓話 福井県立大学生	5月5日	休会	5月12日 プログラム	会員卓話 会長エレクト
-------------	-------	----------------	------------------	------	----	----------------	----------------

会員卓話

人生100年時代



斎藤 清一郎 会員

人生の速さと長寿の時代

私も今年の8月で70歳、古希を迎えます。

入会させていただきましてから、早いもので27年という歳月が流れました。月日の経つのは本当に早いもので、「もうそんなに経ったのか」というのが正直な感想でございます。

私の父は86歳で、母は88歳で他界いたしました。父は決して健康とは言えない時期もございましたが、それでも86歳まで生き抜きました。また、つい最近亡くなりました父の兄は、102歳という大往生でございました。社会員のお父様は、先月白寿を迎えられ、市長からお祝いを受けられたと伺っております。

このように、「人生100年」という言葉は、もはや特別なことではなく、ここにいらっしゃる皆様の中にも、100歳を迎えられる方が多くいらっしゃるのではないかと感じております。

ペットとの暮らしと命の尊さ

少し話は変わりますが、我が家で飼っている犬は18歳になります。人間で言えば90歳を超える高齢です。

1年半ほど前、突然首をかしげて、ぐるぐると回り続けるという症状が出ました。幸い、抗生物質で1週間ほどで回復いたしました。先月再発し、一時はどうなることかと思いましたが、血液検査と新たな投薬の結果、今ではまた散歩に行けるまでに元気を取り戻してくれました。

もちろん、足腰は弱り、長い距離は歩けません。毎朝、彼の様子を見るのが私の日課となっております。

地域活動と人との繋がり的重要性

さて、今年から地区の区長を拝命いたしました。これが想像以上に忙しく、本日も消防署の方との打ち合わせなどが入り、慌ただしく過ごしております。

区長の他にも、勝山建設業会の会長、奥越間税会の会長など、様々な役職をお引き受けしております。特に奥越間税会は、今は亡き洲上さんから「斎藤君に頼む」と、まるで遺言のように託されたものでございます。

ロータリークラブをはじめ、こうした各種団体に所属しておりますと、本当に多くの方々と知り合う機会に恵まれます。ロータリークラブでは、普段の生活ではお会いすることすら叶わないような、社会的地位の高い方々とも、対等な立場で親しくお話しさせていただくことができます。これは、私にとって何物にも代えがたい、大きな財産となっております。

ロータリークラブでの27年間を振り返って

最後になりますが、ロータリークラブで過ごしたこの27年間は、私に計り知れない宝物をもたらしてくれました。

若い頃に所属していた青年会議所で得た人脈が、今でも県議会議員の方々との交流に繋がっているように、ロータリークラブでの出会いは、年齢や社会的立場を超えた、素晴らしい人間関係を築く礎となりました。

ここにいらっしゃる皆様も、どうかこれからも長くロータリークラブでの活動を続けていただき、この素晴らしい繋がりを大切に育んでいただきたいと思います。心から願っております。

辻 利津子 会員 女性ロータリアンとして
(何で婦人会、女性会)

私は勝山ロータリークラブ会員歴20年になりました。その間2009～2010年河北美紀子会長の時に曲がりなりにも幹事を務めさせていただきました。

また2015～2016年会長を仰せつかり、久保幹事を始め皆様に支えられて何とか務めさせていただきました。そして今年度再び幹事として皆様に大変お世話になっております。

ロータリアンであることで、あらゆる職業のロータリアンの皆様から多くのことを学ばせていただいていることを心から感謝しております。

私の父、宇野龍一は昭和45年勝山ロータリークラブに入会、昭和57年には幹事をつとめ、当時は50人近い会員数でローターアクトクラブ、交換学生の派遣や受入もあったようです。

しかし当時はロータリークラブに女性の入会は認められていませんでした。配布した資料「ロータリーの女性会員とその歩み」のように、1989年（平成元年）規定審議会でもロータリークラブの会員は男性に限られるとするRI定款の要件を削除するよう可決、女性は世界中のロータリークラブで入会が認められることとなりました。

以来2022-2023女性RI会長にジェファニーEジョーンズ氏、2024-2025ステファニーAアーチック氏が就任。

1985年男女雇用機会均等法制定から40年以上経ち、男女共同参画社会の現在ですが、私が半世紀前に学んだ岐阜女子大学の建学の精神は「人らしく、女らしく、あなたらしく、あなたならではの」でした。

慈しみの心を育み（人らしく）、きめ細かな感性を发扬し（女らしく）、自我を確立させ（あなたらしく）、責任ある個性が発揮できる（あなたならではの）人材を養成する（教養ある職業人）という教育理念です。

私が今まで活動してきた女性会は北西侯婦人会、農協女性部、母と女教師の会、奥越法入会女性部会、勝山商工会議所女性会で色々な活動をしました。

勝山商工会議所会員事業所の女性の会では経営に役立つ研修会や講習会、視察研修会を行っています。勝山が活気のある豊かな町になることを願い、左義長まつりに売店出店していましたが、コロナ禍をきっかけに中止。親睦をはかり楽しみながら活動しています。

また、全国、近畿、福井県商工会議所女性会連合会に所属して大会、研修会に参加し、ほかの女性会員との交流を通して見識を深めようとしています。

昨年5月には福井県商工会議所女性会連合会総会研修会を勝山が担当し、勝山城博物館にて開催し、和田耕三会頭にもご臨席たまわり何とか成功裏に終えることができました。勝山商工会議所女性会は現在のところ70歳の私が最年少会員で、会員増強に苦慮しています。

このように色々な女性会で活動して来たなかで最も印象に残っていて忘れられないのは、2013年9月、東日本大震災から2年後に開催された宮城全国大会に参加したことです。

津波被害の痕跡が残る仙台市荒浜地区を目の当たりにして慰霊塔に手を合わせてきました。

そのなかでの記念講演会の要旨をまとめました。

「時分の花」にすがりつきたい（アンチエイジング）と思わず、スマートエイジング「まことの花」を咲かせようと努力していきたいと思ひます。